2026年度第2四半期（2027年3月期）連結決算説明資料

2026年11月12日
株式会社酉島製作所（ 6363）

Key Topics for Q2

受注高

第2四半期の受注高は国内・海外ともに好調

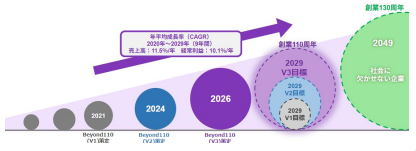
- 前年同期比 **21.5%増**、期初計画進捗率 **61.1%**
- 受注残は **1,281億円**

中期経営計画「 Beyond110 Version3」

アップグレード（2029年度目標）

- 売上高：**1,350億円**
- 経常利益：**110億円**
- ROE：**10%**

中期経営計画サイト：【 リンク 】



グローバル新拠点

- **新機械加工工場** がオープン：インド
- **サービス新拠点** がオープン：
  エジプト、アメリカ（テネシー2拠点目）、
  オーストラリア（パース：拡張移転）

中東情勢アップデート

・受注および引き合い（案件パイプライン）は
引き続き堅調に推移。

・輸送制約に伴う出荷・売上計上の遅れが生じて
おり、今後の期ずれ影響についても注視

目次

【1】2026年度 1Q~2Q 決算ハイライト

【2】2026年度 1Q~2Q 決算実績

【3】地域別受注高・売上高

【4】中東情勢アップデート

【5】Beyond110 アップグレード ：成長戦略の加速（サマリー）

【6】参考資料

目次

【1】2026年度 1Q~2Q 決算ハイライト

【2】2026年度 1Q~2Q 決算実績

【3】地域別受注高・売上高

【4】中東情勢アップデート

【5】Beyond110 アップグレード ：成長戦略の加速（サマリー）

【6】参考資料

2026年度 1Q~2Q 決算ハイライト

2026年度 1Q~2Q 連結実績

	2025年度1Q-2Q	2026年度1Q-2Q	前年同期比
受注高	483億円	587億円	+104億円 +21.5%
売上高	412億円	368億円	-44億円 -10.7%
営業利益	5億円	18億円	+13億円 +260.0%
経常利益	0億円	11億円	+11億円 -
親会社株主に帰属する四半期純利益	-1億円	51億円	+52億円 -

ポイント

2026年度 1Q~2Q 業績

- **受注**：受注は前年同期比21.5%増の587億円、期初計画の960億円に対し進捗61.1%と順調。受注残高は1,281億円。
- **売上・営業利益**：中東の輸送制約により売上計上に遅れが生じているものの、輸出案件の粗利率改善（+8pt）および海外サービス子会社の好調を背景に、営業利益は前年同期比13億円の増益。
  なお、遅延した売上については第3四半期および第4四半期で挽回する見込み。
- **経常利益**：為替差損益等を含む営業外収益に大きな変動はなく、営業増益を反映して経常利益は前年同期比11億円改善。
- **当期利益**：7月1日にグループ入りした新日本造機株式会社の買収に伴い、負ののれん発生益37億円（同日公表の通期予想比＋5億円）を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比52億円増の51億円。
- **通期見通し**：足元の利益は堅調に推移しているものの、プロダクト・ミックスの変化（上期から期ずれした海外案件）に伴う下期の採算低下を見込むこと、また、一部の売上が来期へずれ込む可能性がある中東の輸送制約を引き続き注視していくことから、通期予想は据え置き。

目次

【1】2026年度 1Q~2Q 決算ハイライト

【2】2026年度 1Q~2Q 決算実績

【3】地域別受注高・売上高

【4】中東情勢アップデート

【5】Beyond110 アップグレード ：成長戦略の加速（サマリー）

【6】参考資料

2026年度 1Q~2Q 連結決算実績

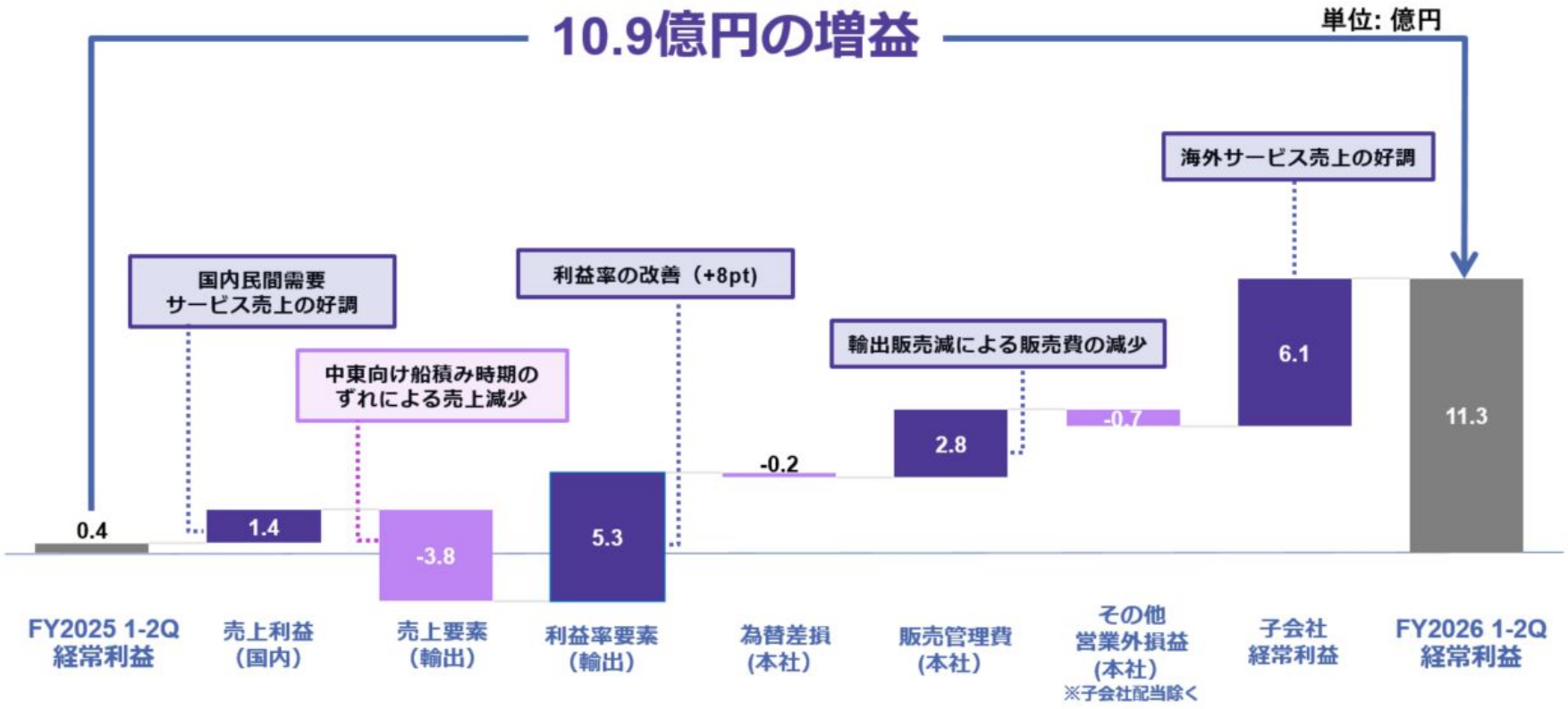
単位：億円

	2025年度 1~2Q実績	2026年度 1~2Q実績	前年同期比 増減	前年同期比 %	2026年度 期初計画	進捗率	2026年度 修正予想 (7/1付)	進捗率
受注高	483	587	+104	+21.5%	960	61.1%	1,064	55.2%
売上高	412	368	-44	-10.7%	955	38.5%	1,039	35.4%
売上総利益 （売上総利益率）	99 (23.9%)	115 (31.2%)	+16 (+7.3pt)	+16.2%	261 (27.3%)	44.0%	278 (26.8%)	41.3%
販管費	93	97	+4	+4.4%	209	46.4%	221	43.7%
営業利益 （営業利益率）	5 (1.3%)	18 (4.9%)	+13 (+3.6pt)	+260.0%	52 (5.4%)	35.0%	57 (5.5%)	31.9%
営業外損益	-5	-7	-2	-	-8	87.5%	-9	76.9%
経常利益	0	11	+11	-	44	25.6%	48	23.5%
特別損益	-	44	+44	-	5	872.7%	37	117.9%
親会社に帰属する当期純利益	-1	51	+52	-	38	134.1%	71	71.8%
為替レート*1（1USD）	148.88円	157.35円	8.47円		155円		155円	
為替レート*2（1USD）	146.56円	160.02円	13.46円					

*1為替レートは各四半期における期末レートで表記
*2為替レートは期中レートで表記

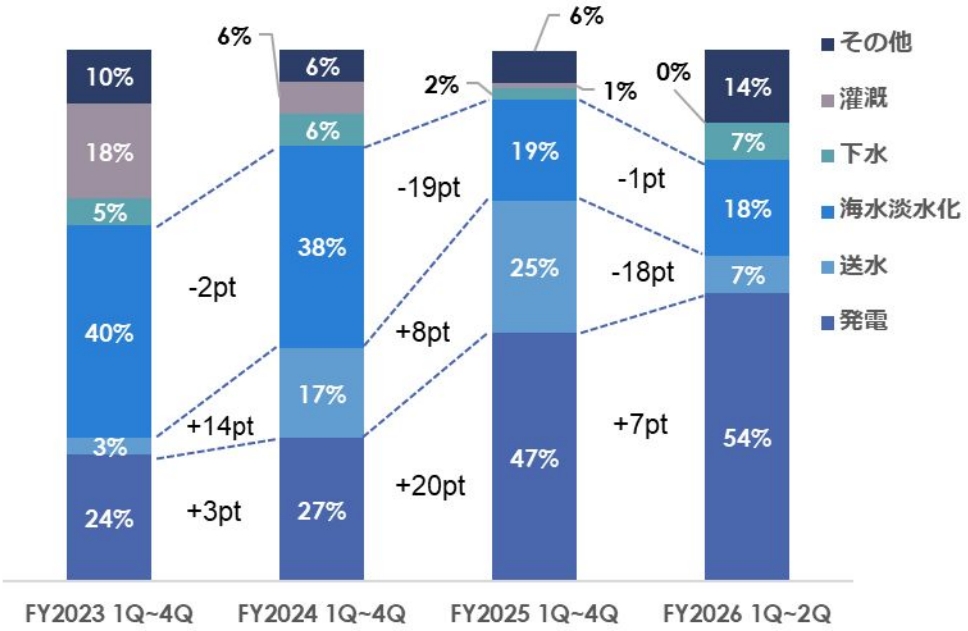
※ 2026年7月に株式を取得した新日本造機（株）の業績は、2026年10月（第3四半期）より連結に入ります。
（第2四半期実績には含まれておりません）

経常利益の増減分析


10.9億円の増益
単位: 億円
国内民間需要
サービス売上の好調
中東向け船積み時期の
ずれによる売上減少
利益率の改善（+8pt）
輸出販売減による販売費の減少
海外サービス売上の好調
0.4
1.4
-3.8
5.3
-0.2
2.8
-0.7
6.1
11.3
FY2025 1-2Q
経常利益
売上利益
（国内）
売上要素
（輸出）
利益率要素
（輸出）
為替差損
（本社）
販売管理費
（本社）
その他
営業外損益
（本社）
※子会社配当除く
子会社
経常利益
FY2026 1-2Q
経常利益

海外分野別受注構成比の推移

【海外市場におけるポンプ本体納入分野別割合（受注高ベース）】



① 安定基盤の確保 ＋ 成長トレンドの受注

海水淡水化や送水など基盤インフラ需要の安定受注を維持した上で、足元の生成AI普及に伴う世界的な電力需要急増を確実に捉え、発電分野の受注を大幅に上乗せ。

② 需要変動に応える機動的な生産・リソース配分

単一分野への依存ではなく、長年培った技術・実績を基盤に、海水淡水化・送水・発電等の各分野へ生産・エンジニアリングリソースを機動的に配分できる「マルチセクター対応力」を発揮。

目次

【1】2026年度 1Q~2Q 決算ハイライト

【2】2026年度 1Q~2Q 決算実績

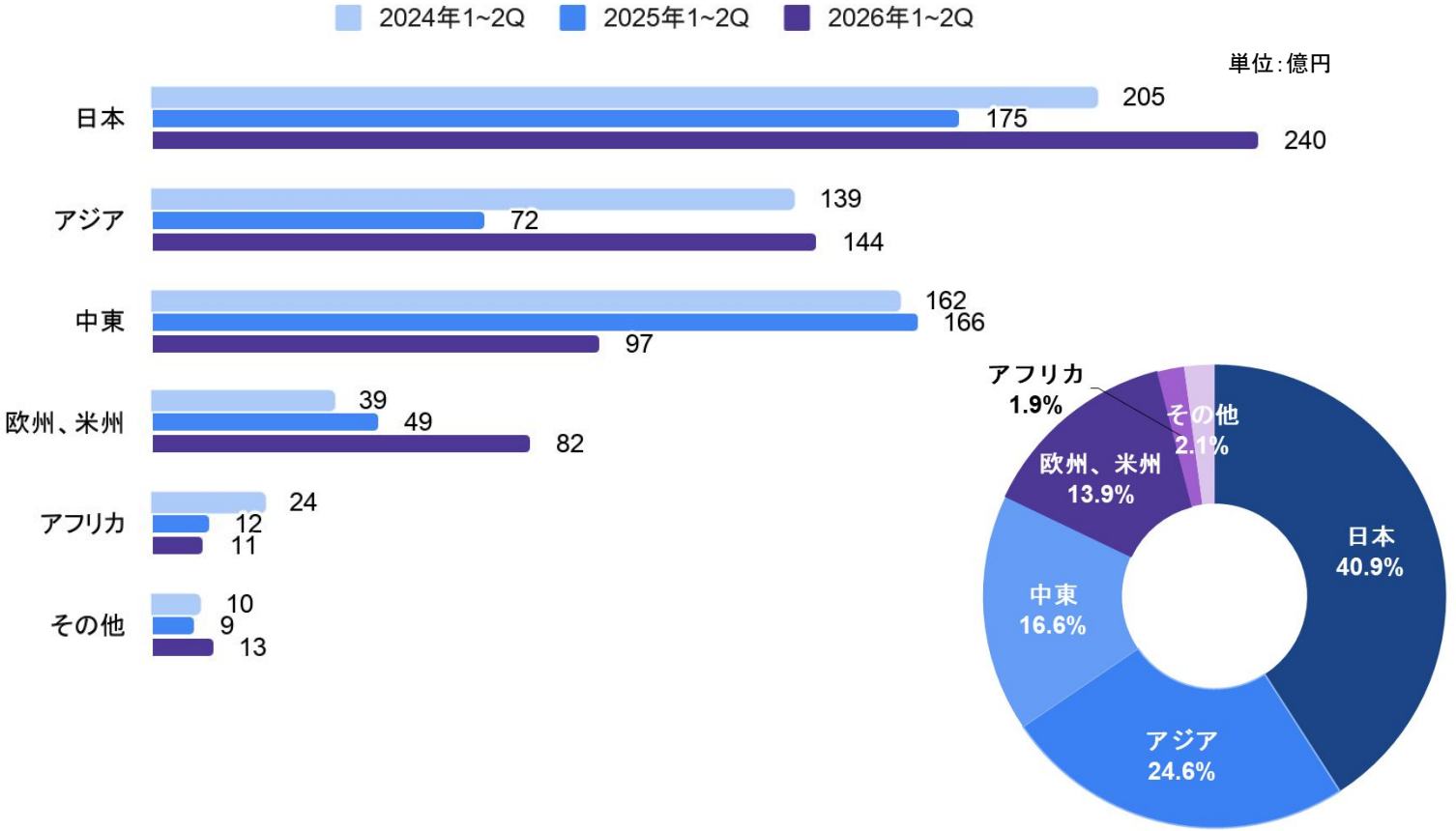
【3】地域別受注高・売上高

【4】中東情勢アップデート

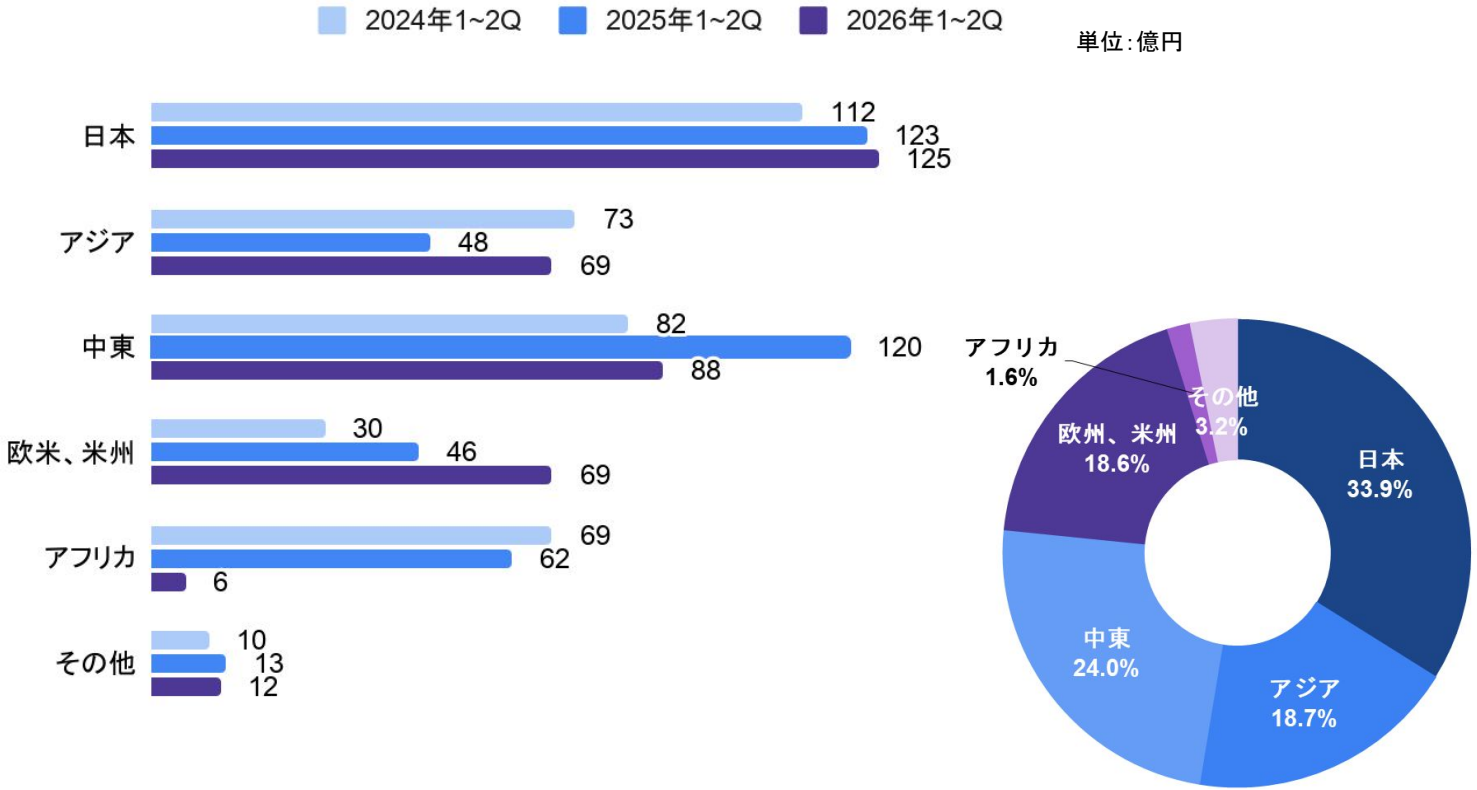
【5】Beyond110 アップグレード ：成長戦略の加速（サマリー）

【6】参考資料

地域別受注高（2024年度1~2Q - 2026年度1~2Q）



地域別売上高（2024年度1~2Q - 2026年度1~2Q）



目次

【1】2026年度 1Q~2Q 決算ハイライト

【2】2026年度 1Q~2Q 決算実績

【3】地域別受注高・売上高

【4】中東情勢アップデート

【5】Beyond110 アップグレード ：成長戦略の加速（サマリー）

【6】参考資料

中東情勢アップデート



【事業拠点】

8カ所

（UAE、サウジアラビア、カタール）

【従業員数】

296人

(2026年11月末現在)

【2026年度売上見込み】

218億円

事業への影響

- 新規ポンプ・サービスともに引き合い件数の減少なし。
- 事業影響は大型貨物の積載スペース待ちに伴う出荷・売上計上遅れのみ、今後、一部が翌期にずれ込む可能性についても引き続き注視。

現地の状況

- 従業員の安全を最優先にしつつ、既存顧客へのサービス提供を継続。
- サウジアラビア国内の複数都市・地域における足元の散発的な攻撃にもかかわらず、事業運営への大きな支障はなし。
- 重要インフラを支える信頼性の高い供給およびサービス保守体制を確実に維持。

目次

【1】2026年度 1Q~2Q 決算ハイライト

【2】2026年度 1Q~2Q 決算実績

【3】地域別受注高・売上高

【4】中東情勢アップデート

【5】Beyond110 アップグレード ：成長戦略の加速（サマリー）

【6】参考資料

Beyond110 アップグレード ：成長戦略の加速

TORISHIMA

2029年度目標

売上高	経常利益	年間 ROE
1,350億円	110億円 <営業利益：120億円>	10%
年平均成長率 11.5% / 2020 - 2029 年度	年平均成長率 10.1% / 2020 - 2029 年度	日本の上場機械 l製造業の平均 ROE＝約7～8%

中期経営計画アップグレード
- Beyond110 Version3 -

目標の早期達成、そしてさらなる成長へ

創業110周年を迎える2029年度の目標として策定した
中期経営計画Byond110 V1 / V2 を早期達成。
さらなる成長に向けてV3を再策定。

事業フェーズに合わせた評価指標

製品稼働台数（Installed Base）の急拡大を目指す現段階では、営業利益率よりも、利益の絶対額の成長を重視。

成長を支える4つのコア戦略

エネルギー　安全・安心　新事業領域　ライフタイムサポート

【経営基盤（ビジネスモデル）】
製品のライフタイムサポートを通じた信頼獲得と稼働台数
（Installed Base）の拡大を図り、LTV（顧客生涯価値）に
基づく持続的・安定的な収益基盤を確立する。

【成長戦略】
既存・新領域の双方で未来に向けた進化を推進する。
既存領域：電力（エネルギー）、水（安全・安心）
新領域　：Oil & Gas用ポンプ、蒸気タービン、
　　カーボンニュートラルを見据えた液化水素ポンプ等

詳細資料のご案内　中期経営計画の詳細は、同日公表の別冊資料をご覧ください。　中期経営計画アップグレード　Beyond110 Version 3

目次

【1】2026年度 1Q~2Q 決算ハイライト

【2】2026年度 1Q~2Q 決算実績

【3】地域別受注高・売上高

【4】中東情勢アップデート

【5】Beyond110 アップグレード ：成長戦略の加速（サマリー）

【6】参考資料

2026年度 1Q~2Q 連結決算実績

TORISHIMA

単位：億円

			2025年度1~2Q実績			2026年度1~2Q実績			前年同期比					
									金額			%		
受注高	ポンプ	国内	483	227	17	587	188	20	+104	-39	+3	+21.5%	-17.2%	+17.6%
		海外			210			168		-42			-20.0%	
	プロジェクト	国内		138	113		196	157		+58	+44		+42.0%	+38.9%
		海外			25			39		+14			+56.0%	
	サービス	国内		118	45		202	62		+84	+17		+71.2%	+37.8%
		海外			73			140		+67			+91.8%	
売上高	ポンプ	国内	412	206	19	368	135	17	-44	-71	-2	-10.7%	-34.5%	-10.5%
		海外			187			118		-69			-36.9%	
	プロジェクト	国内		80	65		84	61		+4	-4		+5.0%	-6.2%
		海外			15			23		+8			+53.3%	
	サービス	国内		126	39		149	47		+23	+8		+18.3%	+20.5%
		海外			87			102		+15			+17.2%	
受注残	ポンプ	国内	1,113	458	86	1,281	539	93	+168	+81	+7	+15.1%	+17.7%	+8.1%
		海外			372			446		+74			+19.9%	
	プロジェクト	国内		459	316		521	347		+62	+31		+13.5%	+9.8%
		海外			143			174		+31			+21.7%	
	サービス	国内		196	48		220	57		+24	+9		+12.2%	+18.8%
		海外			147			163		+16			+10.9%	

※2026年度2Q実績数値には、新日本造機株式会社の実績は含まれておりません。

貸借対照表

単位：億円

	2025年度末	2026年度2Q末	増減	
資産合計	1,202	**1,395**	+193	+16.0%
流動資産	836	**951**	+115	+13.7%
現金及び預金	183	**257**	+74	+40.6%
営業債権	445	**375**	-70	-15.8%
棚卸資産	181	**275**	+94	+51.9%
その他流動資産	27	**44**	+17	+63.0%
固定資産	366	**444**	+78	+21.2%
負債合計	596	**728**	+132	+22.1%
営業債務	119	**94**	-25	-20.8%
有利子負債	222	**304**	+82	+36.9%
その他負債	255	**329**	+74	+29.2%
純資産合計	606	**667**	+61	+10.1%
株主資本	507	**550**	+43	+8.5%
株主資本以外	100	**117**	+17	+17.1%

(注：7月1日に子会社化した新日本造機株式会社の貸借対照表B/S) は、上記の2026年度第2四半期末実績に含まれています。
同社が12月決算であるため、取引実績および損益(P/L) については第3四半期以降に反映されます。)

グローバル市場における保守・サービス網の拡充と機械加工能力の強化

～重要拠点の新設・拡張に伴う機械加工・サービス能力の増強により、現地完結型のライフサイクルサポートを推進。内製化と高付加価値サービスの拡大を通じて収益基盤を強化～



【エジプト】エジプト新サービス拠点の開設：ライフサイクル収益の最大化

エジプトにおいて多数の大型エンジニアリングポンプの販売・稼働実績を有しているトリシマは、アフリカ初のサービス拠点を新設。顧客近接型の保守体制による迅速・高水準なサポートで顧客からの信頼を深化させ、ライフサイクル収益の最大化と次期大型プロジェクトのリピート獲得を加速。



【アメリカ】サービス網の拡充：テネシー新拠点の開設による 2拠点体制

AI普及に伴う電力需要急増を追い風に、発電向けポンプの納入が大幅拡大。これに伴い急伸するアフターサービス需要に対応すべく、テネシー州へ新サービスセンター（約2,900㎡／20トンクレーン完備）を開設。北部ミシガンの既存拠点と合わせ南北2拠点体制を構築し、全米のサービス需要をカバー。



【インド】インドでの供給体制強化：現地化と内製化の加速





旺盛な石炭火力発電需要を背景に、バンガロールに機械加工工場を新設。現地生産化および内製化率向上による収益性改善を推進。「メイク・イン・インディア」政策に対応することでインド国内における競争力強化。

【オーストラリア】西豪州のオイル＆ガス需要　を取り込む拠点拡張

西オーストラリア州における石油・ガス、鉱業、水インフラ分野の旺盛な需要を背景に、既存・新規顧客へのサポート体制強化に向けパース拠点を移転・拡張。最先端の新施設を軸に、同有望市場におけるさらなるシェア拡大を推進。



成長戦略 - ビジョン「社会に欠かせない企業」

TORISHIMA

バリュー
（社是・行動指針）

金銭の赤字は出しても信用の赤字は出すな

ミッション
（経営理念・使命）

私たちはポンプを愛し、世界によりよい変化を生み出すために、進化し続けます

社会課題

AI革命／人口増加／気候変動／少子高齢化
エネルギー不足／水不足／食料不足／洪水被害／インフラ老朽化

コア戦略

強み

エネルギー	安全・安心	新事業領域	ライフタイムサポート
・発電向けフルラインアップのポンプ技術・生産体制 ・発電向け蒸気タービンとポンプのワンストップ供給 ・高効率・省エネルギー技術開発	・海水淡水化ポンプで世界No.1 ・送水・灌漑用大流量ポンプ ・水害対策を強靭化する耐水モータ 一体型ポンプ	・新日本造機との協業によるオイル&ガス市場への進出 ・超電導モータ搭載液化水素ポンプを始め、カーボンニュートラルに向けた液化ガスポンプ開発投資	・世界に広がる豊富な販売・稼働台数 ・グローバルサービスネットワーク ・顧客の近くで高品質なメンテナンス、効率・性能向上を提供するサービス基盤 ・TR-COM技術による予知保全

＼ 基盤：人材、テクノロジー & エンジニアリング、財務規律 ／

ビジョン
（ありたい姿）

社会に欠かせない企業になる

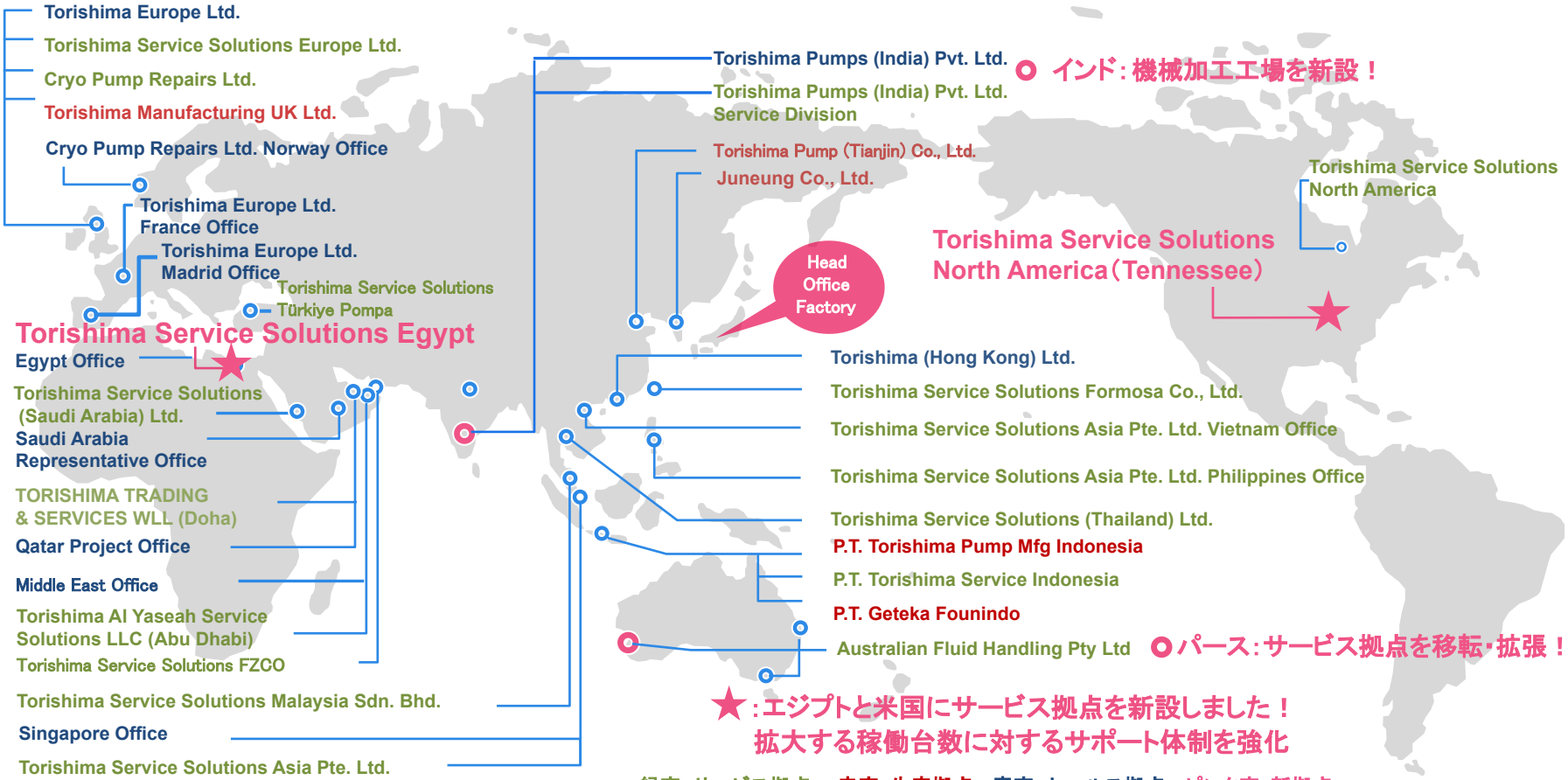
エネルギー課題への取組み

事業分野	事業概況
発電	**発電需要好調** ： 発電プラント向けポンプは国内では圧倒的トップシェアを保有。 世界的には、AIデータセンター建設ラッシュに伴う電力需要急増を背景に、米国やインドでの発電プラント用ポンプの受注が好調。 今後高まる需要に対応するため、2026年度、北米に新しいサービス工場を増設。
省エネルギー	**省エネ補助金認定** ： 2026年度、トリシマの「スーパーエコポンプ」が、省エネ設備導入を支援する日本政府の補助金（SII補助金）制度において、ポンプ製品単体として唯一の指定設備に認定。設備投資の最大1/3（要件により最大1/2）を国が補助することで、脱炭素化推進を後押しする制度。 **スーパーエコポンプサイト** ：【リンク】、**関連ニュースリリース** ：【PDF】
脱炭素	**超電導モータ液化水素ポンプ** ： 京都大学と「超電導モータ液体水素ポンプ」を共同開発し、2026年1月には川崎重工業より世界初の大流量液化水素ポンプを受注。 **液化水素ポンプ開発 YouTube動画** :【動画】

安全・安心な社会の構築

事業分野	事業概況
海水淡水化・上水・送配水	**海水淡水化向けポンプ** ： 世界でトップシェアを保有する海水淡水化プラント向けポンプの需要は、2025年度は一時的に減速しプロジェクトの受注タイミングが2026年度へと繰り越されたが、需要は依然として堅調。 **エジプト巨大国家プロジェクト** ： 2026年5月、92万ヘクタール（東京都の4倍）の砂漠を農地化するというエジプトの巨大国家計画「New Delta Project」の始動式典が大統領主宰のもと開催され、ポンプを供給したトリシマも招待された。 今後高まる需要に対応するため、2026年度、エジプトに新しいサービス工場を増設。 **関連ニュースリリース** :【PDF】／**関連YouTube**【動画】
雨水排水・下水道	**耐水モータ 一体型ポンプ** ： 近年の記録的な豪雨により、排水機場が浸水しポンプが停止する事例が日本国内で多発。 この問題への解決策としてトリシマが開発した「耐水モータ 一体型ポンプ」は、ポンプ室が完全に浸水しても排水運転を継続可能。 2026年4月には「ジャパン・レジリエンス・アワード」最優秀賞も受賞。 **関連サイト：耐水モータ 一体型ポンプサイト** 【リンク】

グローバルネットワーク



★：エジプトと米国にサービス拠点を新設しました！
拡大する稼働台数に対するサポート体制を強化

緑字：サービス拠点　赤字：生産拠点　青字：セールス拠点　ピンク字：新拠点

本資料の業績などに関する将来の予想、見通しなどは現時点で入手可能な情報に基づき算出したものです。

したがって、実際の業績は今後の様々な要因によって、異なる結果となる可能性があることをご了承ください。